

## First Announcement and Call for Papers

## 第9回独日橋梁シンポジウム

期間：2012年9月10日～9月11日

場所：京都大学



協賛:土木学会複合構造委員会



## はじめに

第9回独日橋梁シンポジウムが、2012年9月10日～9月11日の2日間、京都大学にて開催されます。

1982年、ルール大学ボッホームにおける Roik 教授らによるドイツ側の研究と、前田教授および中井教授を代表とする日本側との研究を融合・発展させるため、栗田教授の1年間のドイツ滞在が実現致しました。この友好関係を機に、第1回独鋼合成構造コロキウムが1994年にミュンヘン工科大学（アルブレヒト教授）にて開催され、これまで4回のコロキウム、4回のシンポジウムがドイツと日本で交互に開催されております。前回は、2009年にミュンヘン工科大学とドイツ防衛大学ミュンヘン（マンガリッヒ教授）の両キャンパスにて、第8回のシンポジウムが開催されております。

## シンポジウムの目的

第9回独日橋梁シンポジウムの開催目的は、ドイツおよび日本の両国の橋梁建設に係わる技術者や研究者間の学術および工学的な知識や意見の交換のみならず、両国の友好交流の促進です。また、今回のシンポジウムのメイン・テーマには、“橋の安全、マネジメント、モニタリング”を掲げています。もちろん、これに捕らわれない下記のトピックでの論文発表を歓迎致します。

(1) 橋梁の安全性 (2) 橋の維持管理とモニタリング (3) 鋼橋・コンリート橋・複合橋の設計と施工 (4) 鋼橋の疲労と耐荷性 (5) 道路橋と鉄道橋 (6) 自然災害（津波、地震など）

## 発表論文の募集

シンポジウムでの講演発表論文を募集します。論文発表を希望される方は、英文にて300ワード以内のabstractを、[下記ウェブにてご投稿頂くか](http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/GJBS09/abst.htm)、2012年4月27日**6月10日（延長しました）**まで、下記アドレスまで電子メールにて提出して下さい。また、論文著者も、会議への参加登録が併せて必要です。

<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/GJBS09/abst.htm>  
abstract@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp

## 重要な期日

2012年4月27日**6月10日**: abstract提出期限

2012年5月14日**6月15日**: abstractによる論文発表承諾の連絡、および講演発表論文の書式の送付

2012年6月1日: 会議への参加登録開始

2012年**7月15日**: 講演発表論文の原稿提出期限

2012年9月9日: ウェルカムパーティー

## 会議への参加登録（受付は6月1日から）

シンポジウムへの参加者希望者は、[下記ウェブにてご登録頂くか](http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/GJBS09/reg.htm)、2ページ目に記載の項目を、下記まで電子メールあるいはFAXにて送信し、事前登録を済ませて下さい。

<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/GJBS09/reg.htm>

京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻  
社会基盤安全工学講座  
准教授 大島 義信  
〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
Fax 075-383-3410 (TEL:075-383-3114)  
e-mail: registration@ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp

ホームページも開設していますので参照願います:

<http://www.ise.kuciv.kyoto-u.ac.jp/GJBS09/index.htm>

会議への参加費は、35,000円となっています。学生に限り、10,000円となっています（これにはバンケット参加費は含まれません）。

## 開催スケジュールの詳細

### 2012年9月10日(月)

9:00-9:30 参加登録  
9:30-12:00 オープニングセレモニー  
招待講演 1,2  
12:00-13:20 昼食  
13:30-17:15 パラレル・セッション (1) (2)  
18:30- レセプション

### 2012年9月11日(火)

9:00-10:45 招待講演 3,4  
11:00-12:30 パラレル・セッション (3) (4)  
12:30-13:30 昼食  
13:30-17:30 パラレル・セッション (5) (6)  
17:30- 閉会式  
19:00- シンポジウムバンケット

### 2012年9月12日(水)

終日 見学会  
\*9月13日の午後から、2泊3日で、視察旅行を企画しています(希望者のみ)。

## 招待講演

ドイツ側から2名、日本側から2名の講演者を予定しています。

## 展示ブース

出展企業による技術説明がご覧頂けます(コーヒーブレイク会場)

## 会議の開催場所

京都大学吉田キャンパス(京都市西京区)  
-時計台100周年記念ホール

シンポジウムの公式言語は英語とします。講演発表論文も英語で提出願います。ただし、オープニングおよびクロージングセレモニーでは、できるだけ母国語であるドイツ語と日本語で行いたいと思います。

## 委員名簿

委員長 杉浦 邦征(日)  
副委員長 Ingbert MANGERIG(独)

### Honorary member (名誉顧問)

G. ALBRECHT(独) K. ZILCH(独)  
松井 繁之(日) 山田 健太郎(日)  
北田 俊行(日) R. BERGMANN(独)

### Advisory Committee (顧問)

藤野 陽三(日) 栗田 章光(日)  
川谷 充郎(日) 長井 正嗣(日)  
林川 俊郎(日) 日野 伸一(日)  
依田 照彦(日)

### Organizing Committee (組織委員会)

杉浦 邦征(日) 山口 隆司(日)  
金 哲佑(日) 奈良 敬(日)  
岩崎 英治(日) 松本 高志(日)  
園田 佳巨(日) 藤井 堅(日)

舘石 和雄(日) U. DORKA(独)  
G. HANSWILLE(独) M. KEUSER(独)  
I. MANGERIG(独) G. SIEBERT(独)  
M. MENSINGER(独) O. Fischer(独)  
techn. C. BRAUN(独) G. SEIDL(独)

### Technical Committee (技術委員会)

杉浦 邦征(日) 山口 隆司(日)  
三ツ木 幸子(日) 小野 潔(日)  
I. MANGERIG(独) G. SIEBERT(独)

### Symposium Committee (シンポジウム委員会)

大島 義信(日) 大山 理(日)  
松村 政秀(日) 大西 弘志(日)  
橋本国太郎(日) 北根 安雄(日)

### Secretary (幹事)

大島 義信(日)

## Preliminary Registration Form for 9<sup>th</sup> German-Japanese Bridge Symposium

第9回独日橋梁シンポジウム 事前参加登録フォーム

Surname (姓) : \_\_\_\_\_ First Name (名) : \_\_\_\_\_

Title: (Prof / Dr / Mr / Mrs / Miss / Student) \_\_\_\_\_

Job Title (職業) : \_\_\_\_\_

Company (国) / Institute (都市) : \_\_\_\_\_

Postal Address (住所) : \_\_\_\_\_

Tel. No: \_\_\_\_\_ Fax. No: \_\_\_\_\_

E-mail Address: \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

- I plan to attend the symposium as a delegate and would like to further information  
シンポジウムに参加予定です(講演発表はしない)
- I plan to contribute a paper and the abstract will be mailed later.  
シンポジウムに参加して、講演発表を行う予定です。

Title of Paper (講演発表論文タイトル) : \_\_\_\_\_